

◎サロン

みなさんは文章を書くとき、常体だ・である体」と敬体（です・ます体）をどのように使い分けているでしょうか。

私は自分のブログは常体で書きます。手紙文とは違い、特定の相手を想定していないからです。仕事でインタビュー記事などを書くときも、発注元から指定がない限り常体を使います。新聞と同じです。でも一度、取材した相手の方から、自分の発言部分は「です・ます体」にしてほしいと修正を求められたことがあります。理由は「だ・である体」は断定調で「偉そうに聞こえてしまうから」とのこと。また、別の仕事では編集者の方から、同じ常体でも「〇〇である」は「〇〇だ」と比べ断定感が強すぎる、と言われたこともあります。

私にとっては、「吾輩（わがはい）は猫である」も「吾輩は猫だ」も「吾輩は猫です」もすべて同じ断定とかわ

民 報 サロン

吾輩は猫です

れるのですが、言葉の感じ方は人それぞれ。たしかに、同じ断定でも敬体の方が印象が柔らかく、そのぶん見えな

しいでしょう。他にも「おら」「おいどん」など方言が加わればさらにバリエーションが広がります。

効果期待できるのかもしれませんが、

現代英語にも方言はありますが、「わたし」を表す一人称は常に「I」です。

の演説で、同じことを言う場合は通常、「みなさんの暮らし」「みなさんの協力」といった表現になるでしょう。「あなた」は本来いいねいな表現のはずですが、一方で相手を指さすような直接性が感じられるためか、実際の社会生活では（家庭内の会話を除いて）あまり使われない言葉になっているように思います。でも「あなた」が「みなさん」になったとたん、聞き手は大勢の中の一人になってしまう。欧米と比べ日本の政治家の演説は心に響かないという評を見かけますが、それが正しいとすれば理由の一つはそこにある気がします。

中川 雅美



る」の3パターンは、英語に直せばどれも、I am a cat. です。逆にこの英文を日本語にすると、夏目漱石の作品名の他にも「私は猫です」

「貴様」などなど。そして、一見違ふ意味に見える「みなさん」も「You」の訳語になり得ます。

「僕は猫だ」「俺は猫」など何通りにも訳せます。語尾の常体・敬体だけでなく、「ーわたり」を表す言葉がい

英語の演説ではたいいてい、聴衆の心をつかむために「You」を使って語りかけます。「あなたの暮らしを良くするために」とか「あなた方の協力が

書く仕事をしていると、日本語とは相手との距離に従って語尾も代名詞も自在に変える、とても複雑かつ豊かな言語だとあらためて思われます。まだまだ勉強中です。

（福島市太田町、ライター・翻訳者）